



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月10日

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3726 URL <http://www.4cs-holdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神代 亜紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 山戸 明仁 (TEL) 092-720-5460  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	1,309	62.3	△34	—	△35	—	△40	—
26年9月期第3四半期	806	△47.9	△1	—	7	—	229	—

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 △40百万円(—%) 26年9月期第3四半期 229百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	△6.21	—
26年9月期第3四半期	39.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	2,529	990	38.7
26年9月期	1,619	1,031	63.1

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 980百万円 26年9月期 1,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年9月期の配当予想につきましては未定です。

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	41.4	10	△80.5	6	△89.7	2	△99.3	0.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期3Q	6,648,670株	26年9月期	6,648,670株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	104,290株	26年9月期	103,240株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期3Q	6,544,922株	26年9月期3Q	5,798,811株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による各種政策を背景に、円安・株高が継続し、企業収益や雇用環境が改善するなど、緩やかな景気回復の兆しが見られました。しかしながら、不安定な海外情勢による国内景気への影響なども懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社は事業基盤の安定と持続的な成長を図るため、効率的な組織体制を築き、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を確立し、中長期的な視点にたつて、成長が見込まれる事業分野に対し積極的に経営資源を投入することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

当社は、平成27年5月20日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、クレイトン・ダイナミクス株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施することを決議し、同日付で、クレイトン・ダイナミクス株式会社との間で平成27年8月1日を効力発生日とする株式交換契約を締結いたしました。さらに新規連結子会社である株式会社Cureは、平成27年5月29日開催の当社取締役会決議に基づき、東洋ライフサービス株式会社、有限会社東洋インキュベーションシステム及びTOYO-NET. JAPAN株式会社との間で、平成27年7月1日を効力発生日とする事業の一部譲受けに関する契約を締結いたしました。(詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)」に記載しております。)

また、既存のコミュニケーション・セールス事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、「新規顧客の獲得」と「既存顧客の確保」、この2つを軸に事業を進めてまいりました。

まず、「新規顧客の獲得」に関して、株式会社サイエンスポータにおきましては、ラジオを使った宣伝広告を得意としており、積極的な営業展開の結果、順調に顧客を獲得してまいりました。株式会社フェヴリナにおきましては、新規獲得を得意とする株式会社サイエンスポータのノウハウを共有するためのテストマーケティングを繰り返して行っており、少しずつではありますが新規顧客の獲得数を伸ばしてきております。

次に、「既存顧客の確保」に関して、株式会社フェヴリナにおきましては、従来からのご愛用品に加え、他の基礎化粧品等へ誘導するための施策を積極的に進めてまいりました。株式会社サイエンスポータにおきましては、新規顧客をリピーターに変えることを得意とする株式会社フェヴリナのノウハウを共有すべく、社内体制の構築及び社内教育を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,309,356千円(前年同四半期比62.3%増)となり、営業損失34,168千円(前年同四半期は営業損失1,407千円)、経常損失35,040千円(前年同四半期は経常利益7,292千円)、四半期純損失40,664千円(前年同四半期は四半期純利益229,676千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は2,529,438千円(前連結会計年度末1,619,047千円)、その内訳は流動資産2,298,802千円、固定資産230,636千円となり、前連結会計年度末に比べ910,390千円増加いたしました。これは主に、借入れに伴う現金及び預金の増加800,462千円、その他流動資産の増加204,583千円等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は1,538,768千円(前連結会計年度末587,388千円)、その内訳は流動負債523,450千円、固定負債1,015,317千円となり、前連結会計年度末に比べ951,379千円増加いたしました。これは主に、当社及び株式会社Cureの借入金の増加によるものであり、1年内返済予定の長期借入金の増加100,759千円、長期借入金の増加915,847千円等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は990,670千円(前連結会計年度末1,031,658千円)となり、40,988千円減少いたしました。これは、四半期純損失40,664千円を計上したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退去等の新たな情報の入手に伴い、事務所の退去時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による減少額を変更前の資産除去債務残高から5,920千円減算しております。

なお、当該見積りの変更により、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純損失がそれぞれ5,920千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,037,047	1,837,509
売掛金	114,647	72,019
商品及び製品	166,908	146,669
原材料及び貯蔵品	1,627	2,540
その他	35,511	240,094
貸倒引当金	△176	△31
流動資産合計	1,355,566	2,298,802
固定資産		
有形固定資産	15,136	11,929
無形固定資産		
のれん	176,972	149,029
その他	16,689	13,672
無形固定資産合計	193,661	162,701
投資その他の資産	54,684	56,005
固定資産合計	263,481	230,636
資産合計	1,619,047	2,529,438
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	89,842	59,440
短期借入金	210,000	210,000
1年内返済予定の長期借入金	27,789	128,548
未払法人税等	8,598	1,755
賞与引当金	13,824	5,214
返品調整引当金	1,268	759
株主優待引当金	7,641	4,293
資産除去債務	—	6,886
その他	115,619	106,554
流動負債合計	474,583	523,450
固定負債		
長期借入金	87,196	1,003,043
資産除去債務	22,430	9,808
その他	3,178	2,465
固定負債合計	112,805	1,015,317
負債合計	587,388	1,538,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	248,071	248,071
利益剰余金	△80,761	△121,426
自己株式	△29,050	△29,373
株主資本合計	1,021,047	980,059
新株予約権	10,611	10,611
純資産合計	1,031,658	990,670
負債純資産合計	1,619,047	2,529,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	806,929	1,309,356
売上原価	158,125	318,355
売上総利益	648,803	991,001
返品調整引当金戻入額	2,756	1,268
返品調整引当金繰入額	2,348	759
差引売上総利益	649,211	991,510
販売費及び一般管理費	650,619	1,025,678
営業損失(△)	△1,407	△34,168
営業外収益		
受取利息	1,183	128
為替差益	556	1,712
貸倒引当金戻入額	17,539	—
その他	187	876
営業外収益合計	19,466	2,717
営業外費用		
支払利息	1,936	3,290
持分法による投資損失	8,800	—
その他	28	299
営業外費用合計	10,765	3,590
経常利益又は経常損失(△)	7,292	△35,040
特別利益		
新株予約権戻入益	8,041	—
関係会社譲渡益	215,019	—
特別利益合計	223,061	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	230,354	△35,040
法人税、住民税及び事業税	1,256	3,274
法人税等調整額	△578	2,348
法人税等合計	678	5,623
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	229,676	△40,664
四半期純利益又は四半期純損失(△)	229,676	△40,664

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	229,676	△40,664
四半期包括利益	229,676	△40,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,676	△40,664
少数株主に係る四半期包括利益	-	-



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

#### 1. 事業の譲受

当社の平成27年5月29日開催の取締役会決議に基づき、新規連結子会社である株式会社Cureは、東洋ライフサービス株式会社（以下「TLS」という。）、有限会社東洋インキュベーションシステム（以下「TIS」という。）及びTOYO-NET. JAPAN株式会社（以下「TNJ」といい、TLS及びTISと併せて「譲渡人ら」と総称する。）との間で、事業の一部譲受けに関する契約を同日付で締結し、平成27年7月1日付で当該事業を譲受けました。

#### (1) 事業譲受の目的

当社は事業基盤の安定と持続的な成長を図るため、効率的な組織体制を築き、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を確立し、中長期的な視点にたって、成長が見込まれる事業分野に対し積極的に経営資源を投入することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

譲渡人らにおいては、古くなった角質を除去するための製品「ナチュラルアクアジェルCure」及び岩塩を原料とする入浴剤「Cureバスタイム」（以下ナチュラルアクアジェルCureと併せて「Cure製品」と総称する。）の販売を行っており、市場でも高い評価を受けております。

当社グループとしましても、Cure製品に類似する商品は現在取扱っておらず、今回の事業譲受を通して、既に市場で高い評価を受けているCure製品の販売を行うことで、当社グループの既存の顧客とは異なる年齢層、価格層の顧客の獲得や化粧品の卸売りという新たな販路の獲得ができるなど、高い事業シナジーを見込んでおります。

#### (2) 新会社（譲受会社）の概要

名称	株式会社Cure
本店所在地	東京都杉並区阿佐谷南三丁目37番13号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 梯 英雄
事業の内容	化粧品の製造及び販売
資本金	50百万円（平成27年7月1日現在）
設立年月日	平成27年4月22日
大株主及び持株比率	株式会社フォーシーズホールディングス 100%

(3) 譲渡人らの名称、本店所在地、代表者の役職・氏名、資本金及び事業の内容

① TLSの概要

名称	東洋ライフサービス株式会社
本店所在地	東京都杉並区阿佐谷南三丁目37番13号
代表者の役職・氏名	代表取締役 奥野 卓志
資本金	80百万円
事業の内容	化粧品の製造販売業

② TISの概要

名称	有限会社東洋インキュベーションシステム
本店所在地	東京都品川区豊町四丁目18番20号
代表者の役職・氏名	取締役 鴨田 幸司
資本金	3百万円
事業の内容	化粧品の販売業

③ TNJの概要

名称	TOYO-NET. JAPAN株式会社
本店所在地	東京都杉並区阿佐谷南三丁目37番13号
代表者の役職・氏名	代表取締役 鴨田 幸司
資本金	10百万円
事業の内容	インターネットによる通信販売業

(4) 譲受事業の内容

譲渡人らが共同で営むCure製品の国内販売（インターネットによる販売を含む。）に関する権利を主な対象としております。

(5) 譲受価額及び決済方法

譲受価額 650百万円

決済方法 現金による決済

※ 譲受価額は、独立した第三者算定機関により算定された結果を参考として、当事者間の協議により決定いたしました。

(6) 譲受資産、負債の項目及び金額

現時点では確定しておりません。

(7) 譲受の日程

平成27年5月29日 取締役会決議日（当社）  
平成27年5月29日 取締役決定日（株式会社Cure）  
平成27年5月29日 事業譲受契約締結日  
平成27年7月1日 事業譲受日

## 2. 株式交換

当社は、平成27年5月20日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、クレイトン・ダイナミクス株式会社（以下「クレイトン・ダイナミクス」という。）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」という。）を実施することを決議し、同日付で、クレイトン・ダイナミクスとの間で株式交換契約を締結いたしました。

本株式交換については、当社及びクレイトン・ダイナミクスのそれぞれの株主総会決議により承認を受け、平成27年8月1日付で効力が発生しております。

本株式交換の概要は、以下のとおりであります。

### (1) 本株式交換の目的

上記のとおり当社は、成長が見込まれる事業分野に対し積極的に経営資源を投入することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

当社は、平成27年1月頃から、カラーコンタクトレンズの卸販売を主たる事業とするクレイトン・ダイナミクスとの間で事業統合に関する協議及び検討の機会を得ました。

クレイトン・ダイナミクスは、平成26年2月に設立され、設立初年度から業績は堅調に推移しており、設立2期目である当期においても順調に業績を伸ばす見込みであります。また、今後は、オンラインショップによる消費者への直接販売を行っていく予定であり、既に通信販売事業の実績のある当社グループのノウハウを共有することで、成長のスピードアップができるなどの事業シナジーを見込んでおります。

当社グループとしましても、「美」というキーワードで、新たなアイテムの展開や顧客の開拓ができるなどの事業シナジーを見込んでおり、市場での競争力を更に高めることができ、企業価値の向上につながると判断しております。

以上より、当社及びクレイトン・ダイナミクスは、本株式交換を実施することといたしました。

### (2) 株式交換の内容

当社を完全親会社とし、クレイトン・ダイナミクスを完全子会社とする株式交換

### (3) 株式交換の日（効力発生日）

平成27年8月1日

### (4) 株式交換の方法

株式交換日現在のクレイトン・ダイナミクスの株主名簿に記載の株主に対し、当社の普通株式324,800株を新たに発行し、割当交付いたします。

### (5) 株式交換比率

会社名	当社 (株式交換完全親会社)	クレイトン・ダイナミクス (株式交換完全子会社)
本株式交換に係る割当ての内容 (株式交換比率)	1	56

(注1) 本株式交換に係る株式の割当比率

クレイトン・ダイナミクスの株式1株に対し、当社の普通株式56株を割当て交付いたします。

(注2) 本株式交換により発行する当社の新株式数

普通株式：324,800株（本株式交換にあたり、当社の自己株式の交付は行っておりません。）

(注3) 関連当事者から取得するクレイトン・ダイナミクスの株式数

関連当事者から取得する株式数：4,000株

(6) 株式交換比率の算定根拠

当社は、本株式交換比率の公正性及び妥当性を確保するため、両社から独立した第三者算定機関に本株式交換比率の算定を依頼することといたしました。

当社については市場株価法、クレイトン・ダイナミクスについては時価純資産法及びDCF法による分析を行い、これらを総合的に勘案して株式交換比率は算定されています。

この算定結果を参考に、当事者間で協議し株式交換比率を決定いたしました。

(7) 株式交換完全親会社となる会社の概要

名称	株式会社フォーシーズホールディングス
本店所在地	福岡市中央区薬院一丁目1番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 神代 亜紀
事業の内容	グループ会社の経営管理
資本金	882,788千円

(8) 株式交換完全子会社となる会社の概要

- ① 名称、本店所在地、代表者の役職・氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額、事業の内容及び発行済株式総数  
(平成27年1月31日現在)

名称	クレイトン・ダイナミクス株式会社
本店所在地	福岡市中央区天神二丁目8番41号
代表者の役職・氏名	代表取締役 梯 英雄
資本金の額	58,000千円
純資産の額	71,155千円
総資産の額	487,852千円
事業の内容	医療機器の販売及び輸出入
発行済株式総数	5,800株

- ② 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

(単位：千円)

	平成25年1月期	平成26年1月期	平成27年1月期
売上高	—	—	970,513
営業利益	—	—	24,418
経常利益	—	—	20,444
当期純利益	—	—	13,155

(注1) 上記数値については、監査を受けておりません。

(注2) クレイトン・ダイナミクスは、平成26年2月に設立された会社であるため、平成27年1月期のみ記載しております。